



犬・猫の凍結精液作製をご希望の方へ

凍結精液作製の流れと重要な注意点



1. 精液採取および精液性状検査

犬 Bio Artで精液採取を行っております。



慣れない環境で緊張して採取できない場合もあります。

ご自宅や動物病院で採取した精液を持参または郵送していただくことも可能です。

猫 猫の性質上、ご自宅以外での精液採取が困難なため、ご自身で採取した精液を持参または郵送をお願いします。

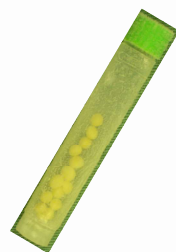


精液性状検査の結果により、凍結精液を作製できないこともあります。

2. 凍結精液の作製

精液性状検査で問題なければ、凍結精液作製へ進みます。

Bio Artでは鋭剤法で作製しています。



3. 凍結精液の保管

凍結処理によって精子活力は低下します。そのため作製した凍結精液の一部を融解し、性状検査を行います。検査結果によって保管可能か判断します。



凍結精液を用いた人工授精では、子宮内へ精子を注入する必要があるため、使用する際、メスの開腹手術が必要になります。

ご不明な点やご相談がございましたらお気軽にBio Artまでお問い合わせください



Bio Art

